



竹迫城跡の主郭部から望む町並み

町並みについて

- ◆竹迫地区は、旧合志郡の中心地で1200年に町号を許された古い町並みです。江戸期には会所が置かれるなど、かつては屋号を持った多くの商店が軒を連ねていました。
- ◆上庄地区は、鎌倉期に築城された竹迫城跡を囲むように自然の地形を生かして形成された集落で、合志市指定文化財の竹迫日吉神社の楼門と社殿、豊岡宮本横穴群、虚空蔵さんなどの文化財が残っています。



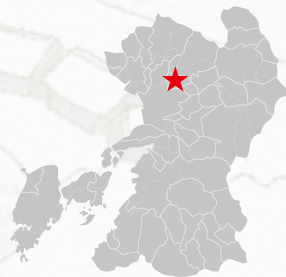
1200年創建の竹迫日吉神社

町並みの中心(核)となる伝統的建造物



たかば 竹迫城跡

- ◆竹迫城跡は南北約200m、東西約400mの独立した丘陵にあり、現在は公園化されています。付近を統治した竹迫氏約320年(1192～1510)、合志氏約80年(1510～1585)の居城でした。
- ◆城域は惣構えといわれる外堀を含めると総延長が約5.9kmあり、中世期の城としては大規模なものです。北側斜面一帯は、中世期の特徴をよく表す土塁や空堀が今も残り、県内では「竹迫城型」という分類の基準になっています。



中世に形成された上庄・竹迫地区は、明治期に入っても裁判所の竹迫出張所が配置されるなど旧合志郡のにぎわいの中心でした。路地に一歩足を踏み入れると、竹林に囲まれた落ち着いた雰囲気のある景観が広がっています。